

# 鑄造部品の複合化技術のご紹介

～ 鑄鉄の延性を活用した複合部品の開発 ～

## この技術のメリット

- 鑄鉄の塑性加工で新たな部品開発が可能
- 部品の複合化で部品数とコストを削減



## 特長

- 化学組成などの材質制御技術により塑性加工可能な鑄鉄を開発
- プレスによるカシメ加工で、部品の複合化が可能

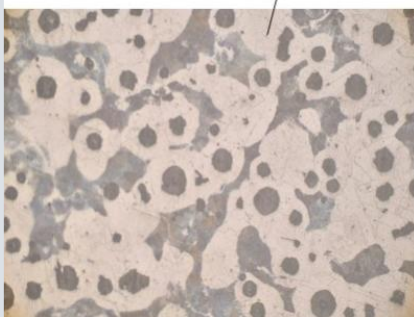


サーボプレス

## 事例

- 鑄鉄の化学成分、金属組織、機械的性質の相関関係から塑性加工に適した化学組成を解明
- 金属組織や塑性加工条件と加工品質の関係および加工条件から最適な製品設計値とプレス加工動作を解明
- 実スケール品の塑性加工実験で、製品としての仕様を満たすことを確認

延性に寄与するフェライト組織が多い



材質制御技術により鑄造した鑄物組織の例



リング部品

鑄造部品

塑性加工部分

開発した自動車用鑄造部品

## 企業様へのご提案

- 複合化部品の試作にチャレンジしてみませんか？

詳しい研究報告



## お問合せ

材料技術部 素形材技術グループ